

平成23年度事業計画

政府は 2016 年までに訪日外国人旅行者を 2,000 万人にする等の目標をたて、観光立国の実現に向け積極的な施策を展開しています。

観光は、旅行業、宿泊業、輸送業、飲食業、土産品業等、裾野の広い産業であり、わが国の経済や地域の活性化、雇用促進に大きな影響を及ぼす 21 世紀のリーディング産業と位置づけています。

静岡県においては、2009 年 6 月の静岡空港開港を契機として、国内外からの誘致に力を入れています。

国や県の施策に呼応して、静岡市においても、2010 年には、日本平動物園、登呂博物館、静岡市美術館のリニューアルオープンがあり、年末には、久能山東照宮が国宝指定を受けるなど、発展に向けた着実な歩みが進められて参りました。

更に、本年 6 月には、静岡ホビースクエアの開設が予定される等、この静岡を中心とした中部地域への吸引力の増大が、ますます期待をされています。

当協会もこれらの状況の変化を着実に受け止め、県、はじめ、圏域 4 市及び賛助会員の皆様方との連携を密に、海外は、東アジアを中心に、国内外からの観光客の誘致、多言語パンフレット等による情報発信、お茶、まぐろ、ホビー、サクラエビの 4 つの柱の認知度向上に重点を置きながら、観光振興、コンベンションの誘致、支援を図っていきたいと考えています。

また、公益法人改革への対応を進めます。

I 誘致事業

1 コンベンション誘致事業（22,025 千円）

① MICE 事業

アジアを中心に各種団体が主催する海外商談会に参加し、訪日教育旅行をはじめとした誘致活動を行なう。

② IME 出展事業

わが国唯一のコンベンション見本市である第 21 回国際ミーティング・エキスポ（IME2011）に出展し、当地でのコンベンション開催誘致 PR を行う。

③ 主催者招請事業

（財）静岡県文化財団と（財）静岡産業振興協会と共同で、コンベンション主催者を静岡に招請し、圏域内のコンベンション施設を PR する。

④ 調査事業

経済波及効果調査

圏域内で開催されるコンベンションの経済波及効果調査を実施し、コンベンションの開催意義を広く紹介する。

2 観光客誘致事業（17,610千円）

- ① 観光キャラバン隊派遣事業
県外の旅行エージェント、マスコミを訪問して静岡市の観光情報を売り込み、旅行商品化、マスメディアでのPRを促す。
- ② 教育旅行誘致事業
県外の小学校を訪問して静岡市の体験教育のメニューを紹介し、教育旅行の誘致促進を図る。
- ③ ノベルティ作成事業
- ④ 海外ミッション派遣事業
県が主催する海外ミッション派遣に参加し、海外での静岡市のPRを行う。

II 支援事業

1 おもてなし事業（23,273千円）

- ① 歓迎ポスター作成事業
コンベンション名を掲載した「歓迎ポスター」を作成し、賛助会員の店頭等に掲示し、歓迎の意を表す。
- ② 歓迎モニュメント
歓迎モニュメントを大会会場に設置して、地元の歓迎の意を表す。
- ③ 支援グッズ作成事業
支援グッズを作成し、主催者に廉価で提供する。
 - ・名札・オリジナルコンベンションバッグ・大会資料入れ封筒
 - ・手提げビニール袋
- ④ おもてなしセミナー事業
賛助会員や市民の観光事業への関心や理解を深めるための市民講座等を開催する。
- ⑤ サポート通訳事業
コンベンションサポート通訳登録者の研修会を開催し、大会・学会や国際会議の受付やエキスカーション等をサポートする人材を養成する。

2 国際会議助成・開催準備経費貸付事業（4,997千円）

- ① 国際会議誘致助成事業
一定の条件に該当する外国人が参加する国際会議の主催者に、コンベンション開催経費の一部として「国際会議誘致助成金」を交付する。
- ② 開催準備貸付事業
コンベンションの開催準備に必要な資金を貸し付ける「コンベンション開催準備資金貸付」業務を行なう。

3 観光インフォメーションデスク・観光案内所事業（52,942千円）

① 観光インフォメーションデスク事業

大会会場に静岡案内人「駿府ウェイブ」による観光インフォメーションデスクを設置し、観光関連情報を大会参加者に提供する。

② 観光案内所事業

静岡市総合観光案内所、静岡駅南口観光案内所、しずチカ情報ポケット、清水駅前観光案内所の管理運営を行ない、観光振興を図る。

III 宣伝事業（40,745千円）

① 支援用パンフレット作成事業

圏域4市の観光施設等の優待割引券マップを作成する。

② 広報宣伝物設置事業

静岡駅前地下道、富士山静岡空港等に、静岡市へお越しいただいた皆様への歓迎及びPRを行うため新たなデザインの広告看板を設置する。

③ 定期便就航先PR事業

「富士山静岡空港」就航先都市へ静岡市の観光情報を周知するためPR事業を行う。

④ 観光パンフレット作成事業

新規観光パンフレット、外国語版リーフレットほか各種パンフレットを作成する。特に外国語版リーフレット作成を強化する。

⑤ インターネット情報発信事業

ホームページをリニューアルし、観光情報を紹介するとともに、当協会の活動を広くPRする。

⑥ フォトコンテスト事業（新）

四季の富士山など静岡市から見た景観等を写す写真コンテストを行い、印刷物やホームページ等で使用するために役立てる。

IV 施設管理運営事業（26,599千円）

① 次郎長生家

② 静岡市清水港船宿記念館「末廣」

③ 駿府城跡観光バス駐車場

V その他事業（23,741千円）

① 賛助会員のつどい事業

賛助会員相互の交流及び情報交換を目的に、年に一度開催する。同時に、賛助会員のための講演会等を開催する。

② 公益移行先進地視察事業

全国に当協会と同種の組織が約20団体ある。その中で、既に公益及び一般法人移行申請を済ませた組織へ出向き、申請手続き及び申請後の具体的な情報収集等につとめる。

③ イベント助成事業

グラウンドゴルフ大会、三保あさり祭り、日本平梅祭り等のイベント開催を助成する。

VI 収益事業（20,510千円）

① 駐車場事業

登呂博物館等の利用者のため、年間を通して登呂駐車場の管理運営を行う。

② JR静岡駅前地下道ショーケース貸出事業

当協会が管理運営する「JR静岡駅前地下道ショーケース」の広告主を募集し、利用促進を図る。

③ 土産品等販売事業

当協会が管理運営する「次郎長生家」及び船宿「末廣」において、土産品等の販売を行う。